

## 8. 技能講習及び修了証

### 1) ナイスジョイント施工説明を実施しています

技能講習修了証、技能講習修了者証を発行いたします

- ① 施工マニュアル、作業手順等で実施しています。
- ② 施工が初めての方等は必ず施工説明を受講してください。
- ③ 申し込みはご購入の販売店様に依頼されますようお願いいたします。

### 2) 技能講習修了証・技能講習修了者証



技能講習修了証(手帳)



技能講習修了者証(ヘルメット用)

## 9. 施工例

1) 拡管式管継手(ナイスジョイント) 呼び径:75~100Su



2) 拡管式管継手(ナイスジョイント) 呼び径: 13~60Su



SAS32206

# モデル配管



## モデル配管 メカニカル形ボール弁



バルブはカラーハンドルを用意しています。  
(標準は赤です)

## メカニカル形ゲート弁



クロスコネクションなどの  
対策に利用できます。  
色を変えて識別できます。

# ナイスジョイント使用現場

横浜ランド  
マークタワー

クイーンズ  
スクエア横浜

バンバシフィック  
横浜ベイホテル東急

ヨコハマグランド  
インターコンチネンタルホテル

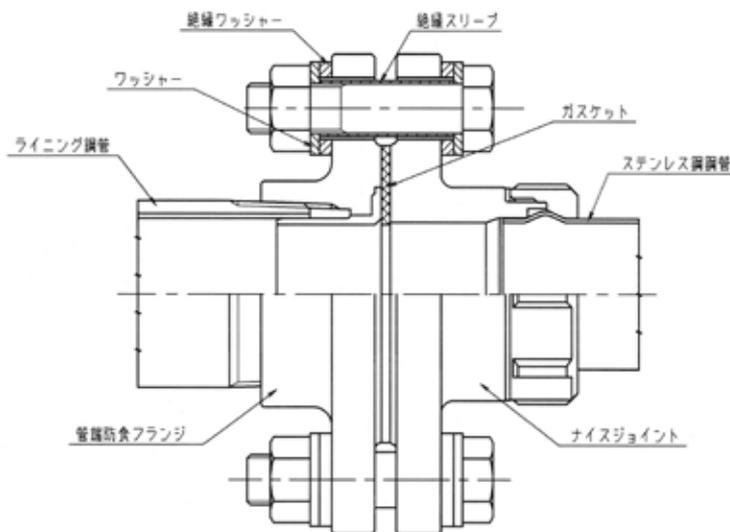
みなとみらい

# 10. ステンレス配管の注意点関係

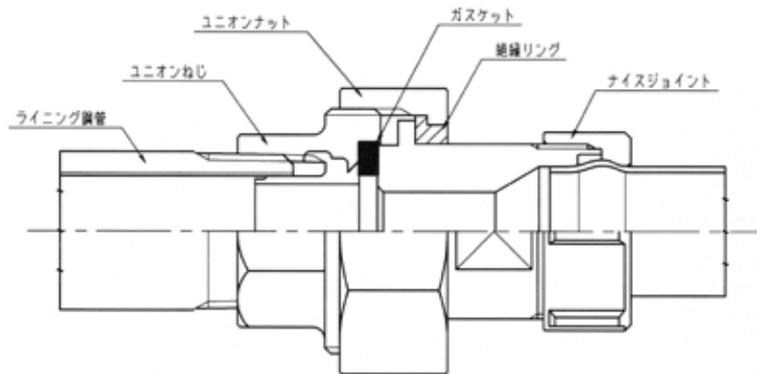
## 1) 異種金属との接続

ライニング鋼管とステンレス鋼の絶縁

① 絶縁スリーブ・ワッシャーによる  
フランジ接合



② 絶縁ユニオンの接続例



## 2) ステンレス配管のテスト

テストプラグの使用時は注意してください

○ ステンレス製、樹脂製

× 鋼製、アルミ製

腐食する

ステンレス鋼鋼管にはステンレス以外の金属製プラグは使用しない

ねじ部のシールはステンレス用のシール材  
かシールテープをご使用ください。



### 3)配管の支持金具

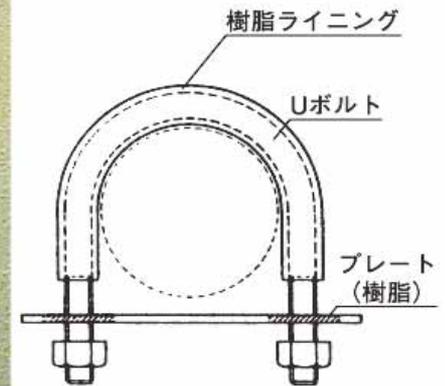
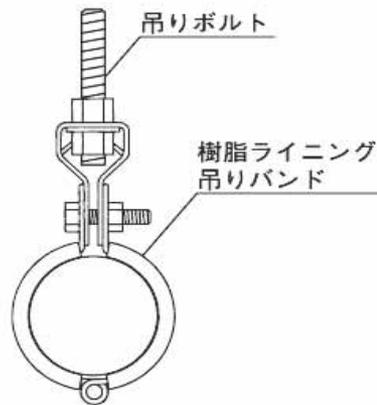
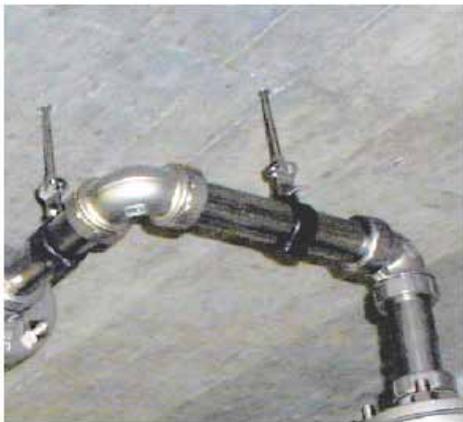
吊り金具、Uボルトなどの材質は

○ 樹脂ライニングの金具を使用する

× 鋼管用、銅管用(ゴムライニング)

ステンレス鋼鋼管に直接金属が当たらないように注意してください。

躯体からの電流を防ぐ目的で樹脂コーティングの物をご使用ください。



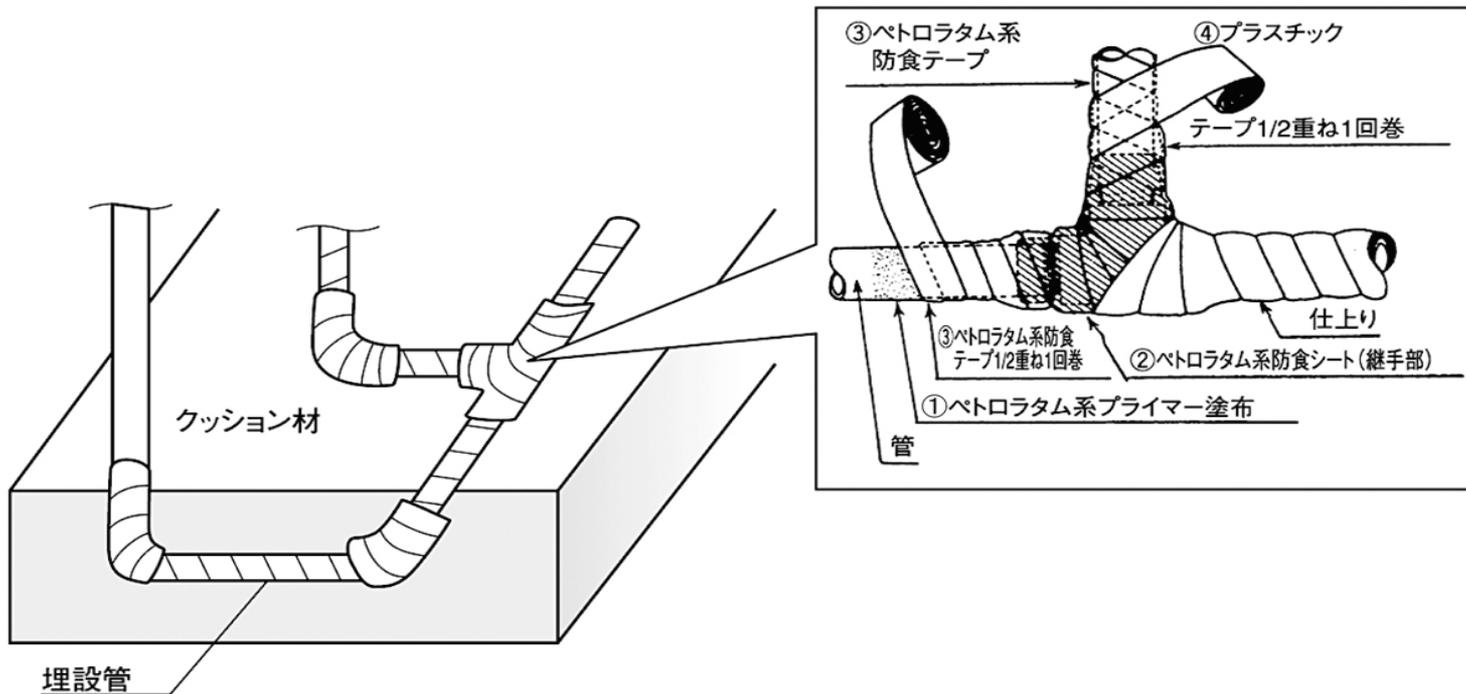
## 4)コンクリート埋設

コンクリートとは収縮や伸びが違うので注意

○ 緩衝材、保温材などで被覆する

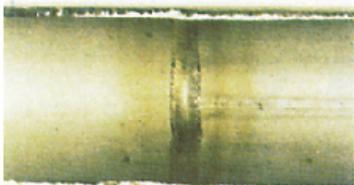
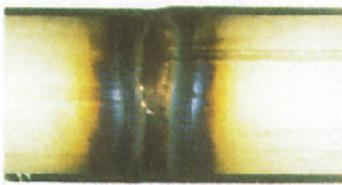
× 直接埋設すると配管の不具合につながる

ステンレス鋼管が温度で伸縮するので注意してください。



## 5) 溶接見本

- ①溶接作業は、原則として工場で行う。オーステナイト系(SUS304、SUS316、SUS315J1・J2)を現場溶接する場合は、不活性ガスのアルゴンガスあるいは窒素ガスでバックシールドして、TIG自動円周溶接機を使った自動溶接とする。図の溶接A以上とする。
- ②内面の酸化スケールが多い(溶接B)だと耐食性が低下し水質により腐食が起こりやすくなる。

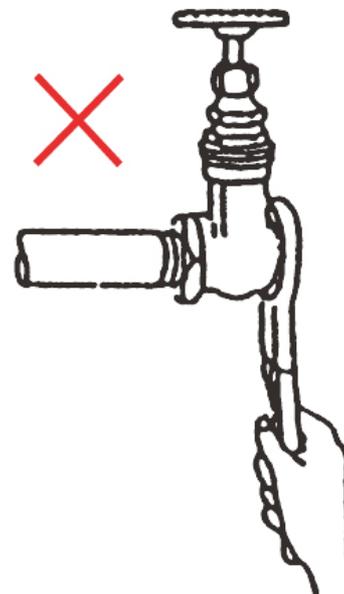
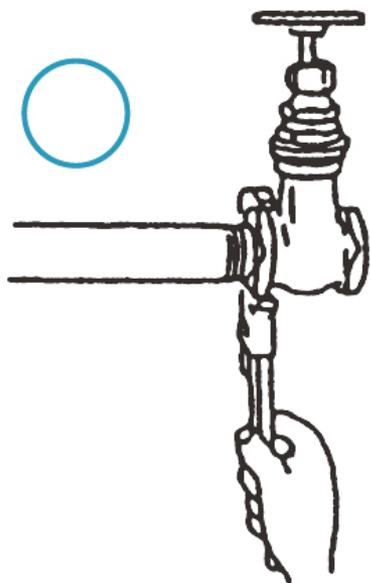
	管内面	備考
溶接A		酸化スケールなし ビード形状良好
溶接B		酸化スケールあり ビード形状良好

○ 溶接A

× 溶接B

## 6)パイプレンチの位置

- 接続側を持って締める
- × 反対側を持って締めると、ねじの歪み・バルブの歪みが発生する



## 7) フランジのボルト締め順序

- ①→②→③の順番に締める
- × 片締めすると漏れる



## 8) テフロン包みガスケットの取扱い

- このまま使用する
- × テフロンを取らない



## 9) その他の注意点

### ① 土中埋設の注意点

埋設配管にはSUS316による施工を推奨する。SUS304にて施工の場合は、必ず防食テープを1/2重ね1回巻きするか、ポリエチレンスリーブ等で配管を被覆してください。土壌の状態が不明な場合は土壌調査を行ってください。

### ② 水質確認を実施する

井水を使用する場合や、次亜塩素酸ソーダ等による薬注をする場合は、過去に水質によるトラブル事例もあるので必ず水質確認を実施してください。材質の選定が不明な場合は水質調査後お問い合わせください。

ステンレス配管の耐食性は、主に温度・pH・残留塩素・塩化物イオン・Mアルカリ度・硫酸イオン等に影響されます。

特にpHが5以下(酸性の温泉水など)の場合、SUS304・SUS316は腐食の可能性がります。